

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年 7月18日更新

事務事業名		人権フェスティバル開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開輝久雄
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	古澤 沙也加
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	啓発教育班	(内線)	5333
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 8	事業連番 11511	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	合併前に、旧合志では「合志町人権フェスティバル」、旧西合志町では「人権フェスティバルin西合志」として開催していた。合併後も、合志市人権フェスティバルとして平成18年度から毎年開催。(平成21年度は、インフルエンザ流行のため中止)平成21年4月に、人権フェスティバル実行委員会設置要綱、会計規程を制定し、一般会計から会計処理ができるようにした。人権フェスティバル実行委員会委員を組織している。(26名・任期2年間)
【業務の流れ】	人権フェスティバル実行委員会委員を選任する。同実行委員会(小委員会)会議の開催、運営、人権フェスティバルの開催(会場設営、職員の業務要員としての配置事務、プログラム作成、講演者依頼、必要物品の購入)、展示ギャラリーでの人権作品展示
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	平成30年12月1日(土)にヴィーブルメインアリーナにおいて、人権フェスティバルを開催し、人権標語・ポスターの優秀作品表彰、栄保育園・西合志中学校の発表、ちひろさん(歌手)の講演等で参加者の人権意識の向上に努めた。	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 第14回合志市人権フェスティバルを開催予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人 人権フェスティバル参加者数	予算の主な増減の理由 人権啓発カレンダー及び開催ポスターの印刷製本を削減したことによる需用費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民、小中学生、PTA、教職員、幼稚園・保育園園児、保護者、職員、市内従業者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 ア:合志市人口 イ:市内従業者数(市民含む)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	部落差別をはじめあらゆる差別をなくし明るいまちづくりを目指す。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)% ア:人権フェスティバルに参加して、アンケートに「よかった」と回答した割合
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
人権フェスティバルに参加してもらい、市民の人権意識を高めることは、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし明るいまちづくりにつながる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
①活動指標	ア	人	495	443	1,200	782	1,200	1,200	1,200	1,200	
	イ										
②対象指標	ア	人	61,002	61,652	62,000	62,343	62,500	62,500	63,000	63,500	
	イ	人	1,885	0	18,000	0	18,000	18,000	18,000	18,000	
③成果指標	ア	%	100	93.8	100	94.9	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	622	793	809	797	394	394	394	400
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	1,139	502	579	346	584	584	584	475
		(A)事業費計	千円	1,761	1,295	1,388	1,143	978	978	978	875
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	15	10	55	16	55	55	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	749	753	1,089	1,066	1,089	1,089	0	0	
	(B)人件費計	千円	0	2,978	4,338	4,202	4,338	4,338	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,761	4,273	5,726	5,345	5,316	5,316	978	875	

事務事業名	人権フェスティバル開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 参加者が来年もまた参加したくなるような内容にしていかなければならない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減すると、内容が少なくなり啓発が充実しなくなる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務の内容的にも委託等にするより職員で事務をした方が経費が少なくて済むため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 人権フェスティバルは市民が対象であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 委託等にするより、職員で事務をした方が効率的で経費が少なくて済む。

3 評価結果の総括 (CHECK)

熊本地震後、三年ぶりのヴィーブルでの開催となり、多くの市民の人権啓発につなげることができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						